

# 離乳食の進め方を演習

## 大船渡で子育てスクール

大船渡市のNPO法人こそだてシップ（伊藤怜子代表）の第8回子育てスクールはこのほど、盛町のサン・リア内にある「すくすくルーム」で行われた。

千葉県流山市の一般社団法人おたかの森助産院の山本正子院長・代表理事を招き、乳児の離乳食の進め方について演習した。

同スクールは、「赤ちゃんをもつお母さんたちに子育てに役立つ知識や情報を提供しよう」と、市の市民活動支援事業による補助を受けて定期的に開いている。

今回は、同法人が運営している子育て支援室「すくすくルーム」を利用する母親らから希望が多かった離乳食

参加した。

山本院長は、「乳児が1歳の誕生日までに自らの力で食事と水分を取られるようになるために大人が学んでおきたいこと」をテーマに講話。

続いて、親子が一緒に昼食を取りながら、離乳食の具体的な食べさせ方や食に関するしつけの方法について演習した。

山本院長は「多くのお母さんの悩みは、赤ちゃんが離乳食を食べたくないこと。食べない子どもたちは、ご飯の時間にお母さんが1対1になっいて食べさせていることが多く、大人が食べているところを見ていない。そうになると、見本がないので食べ方を学べ

離乳食の進め方を学ぶ参加者たち「すくすくルーム」



習時には、それぞれの子ども悩み事を聞いたり、ポータルに合ったアドバイスを行っていた。